

共同研究「歴史展示における『異文化』表象の基礎的研究」  
次回の研究会について

日時:2月23日(木)10:00~16:00

場所:国立歴史民俗博物館 第2研修室

報告:

「異文化表象と教育活動—その理念・目的と可能性をめぐって—」

君塚仁彦 (東京学芸大学)

「”復元”の意義について—学びのありかたへの予備的考察—」

並木美砂子 (千葉市動物公園/歴博客員)

「ものを媒介にしたコミュニケーション」

佐藤優香 (国立歴史民俗博物館)

「歴史展示における復元模型の意味と活用」

小島道裕 (国立歴史民俗博物館)

協議:

研究の総括と報告書の刊行について 久留島浩(国立歴史民俗博物館)

事務局 小島道裕

[kojima@rekihaku.ac.jp](mailto:kojima@rekihaku.ac.jp)